

富士箱根伊豆国立公園(伊豆半島地域)の公園計画の変更について



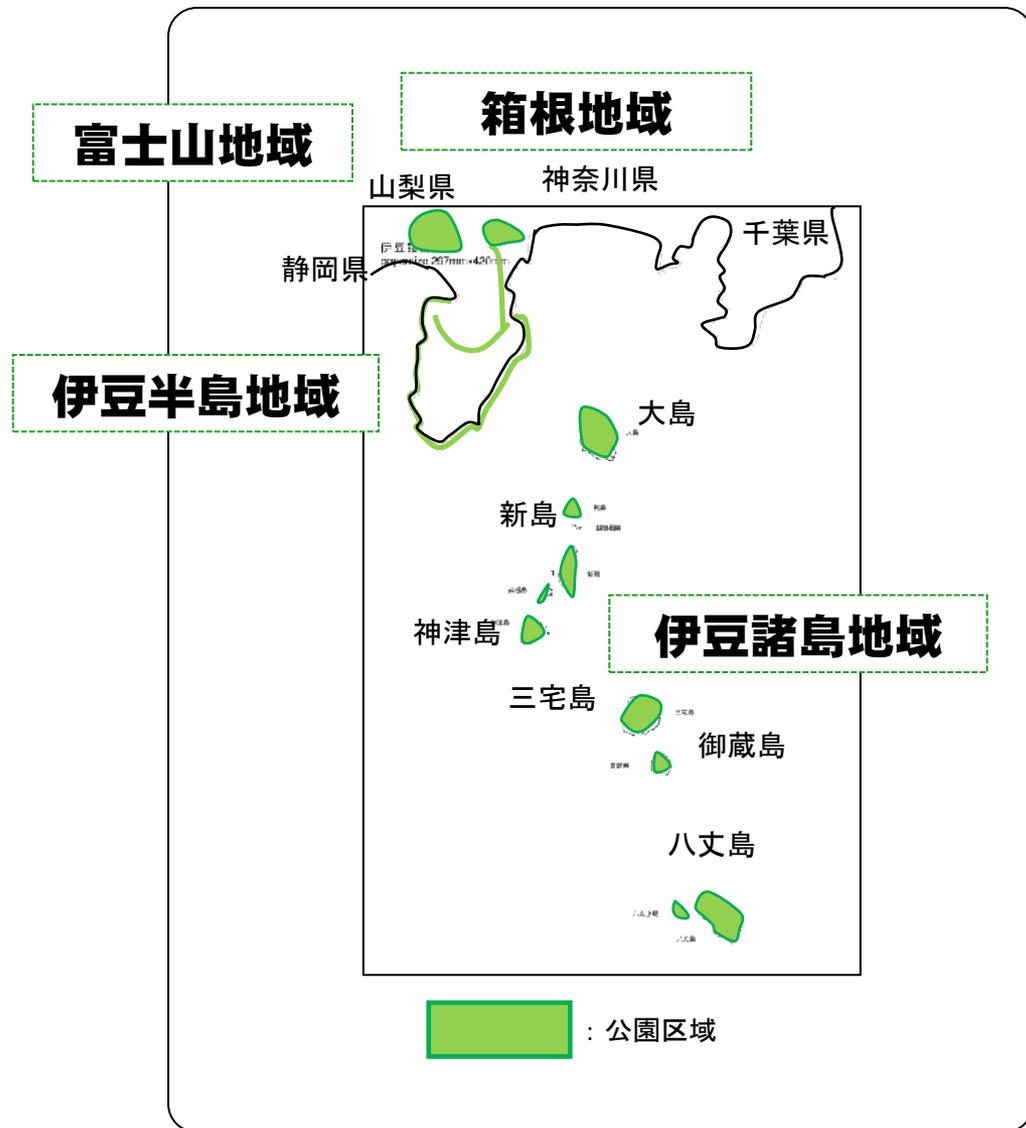
富士箱根伊豆国立公園の概要

- 指定
— 昭和11年2月1日
(富士箱根国立公園として)

— 昭和30年3月15日
(伊豆半島地域を編入)

— 昭和39年7月7日
(伊豆諸島地域を編入)

- 面積
121,695ha(陸域)
うち、伊豆半島地域
22,439ha



～ 火山孤峰、火山カルデラ、半島・列島景観 を風景形式とした国立公園 ～

伊豆半島地域

●海底火山や火山島がプレートの移動により本州に衝突して形成されたという特異な成り立ちを持ち、複雑な火山活動、隆起沈降、浸食活動等により、複雑な地形の山稜と、海蝕崖、砂浜・礫浜、岩石海岸など多様な地質及び形体の海岸を有する。

●主要な観光道路の沿線を中心に、U字形の山稜に沿った細長い帯状の地域と海岸沿いの帯状の地域を公園区域に指定。

伊豆半島からの富士山



富士箱根伊豆国立公園 (伊豆半島地域) 経緯

- 昭和11年 : 富士箱根国立公園指定
- 昭和30年 : 伊豆半島を追加指定
- 昭和56年 : 全般的な見直し・山稜部(再検討)
- 昭和58年 : 全般的な見直し・海岸部(再検討)
- 平成 2年 : 第1次点検(公園計画の変更)
- 平成 8年 : 第2次点検(公園計画の変更)
- 平成17年 : 第3次点検(公園計画の変更)
- 平成27年 : 第4次点検(公園計画の変更)
利用施設計画の見直しを実施

利用施設計画の概況

興味地点を自動車等の交通により結ぶ道路公園的利用

利用拠点において、温泉での保養、自然探勝、海水浴などを楽しむ

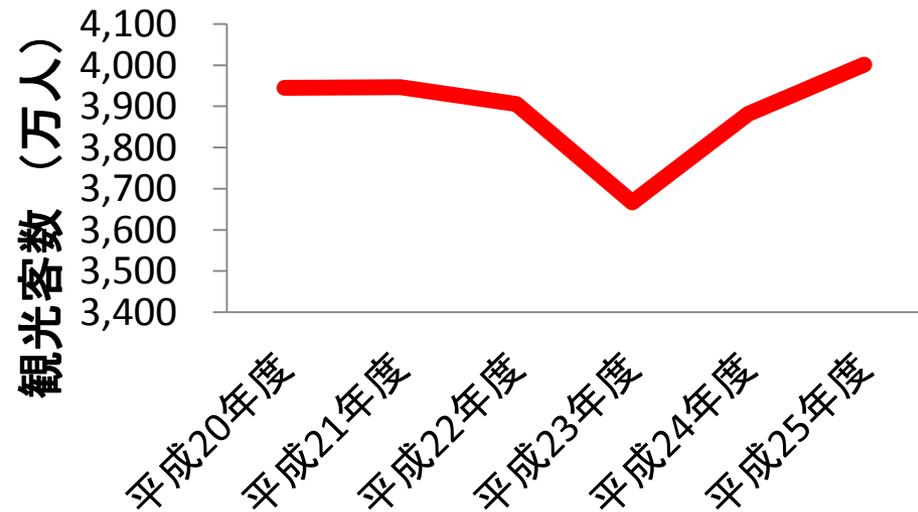


●当該国立公園の利用者数は近年増加傾向

●平成25年6月に富士山が世界文化遺産に登録されたことをきっかけに、富士山を海越しに眺めることができる伊豆半島西海岸の展望景勝地の利用ニーズも向上



伊豆地域の観光客数



以上を踏まえた、利用施設計画の変更を実施

小下田宿舎計画の追加

小下田地区に位置する恋人岬は、眺望が優れ、利用者が増加傾向

小下田地区には、すでに道路、歩道、園地計画がなされているが、**新たに宿舎計画を追加**することで、利用拠点の強化を図り、当該地区で増加している公園利用者に対して、より適正な公園利用サービスを提供



恋人岬利用者数

| | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 |
|----|---------|---------|---------|
| 合計 | 161,441 | 161,608 | 173,725 |



伊豆市提供

小下田宿舎

恋人岬

